

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

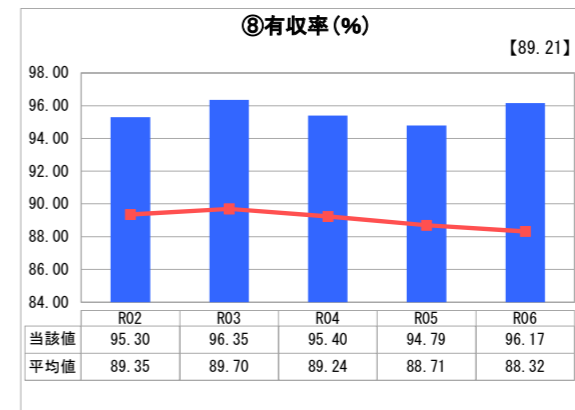
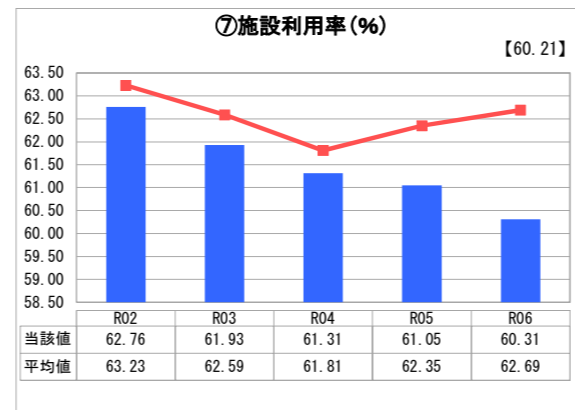
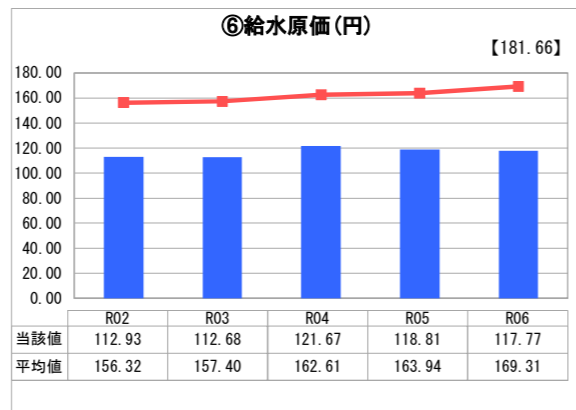
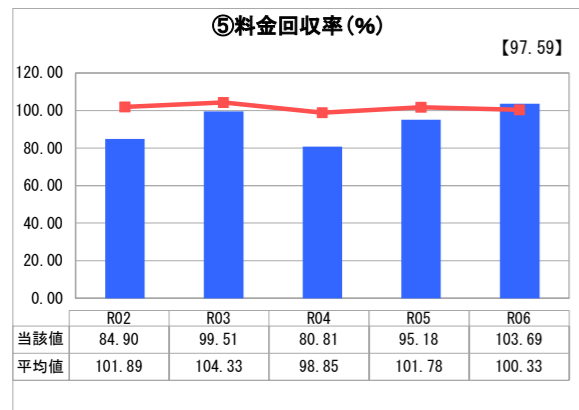
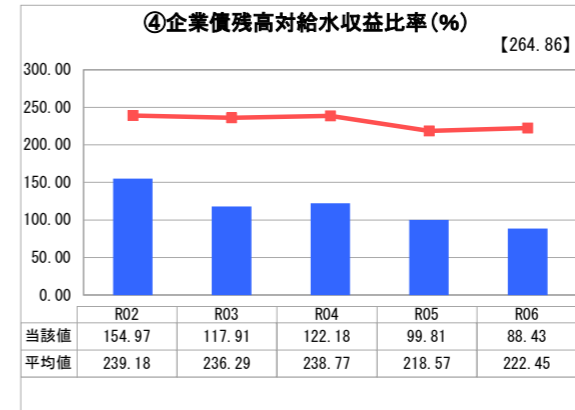
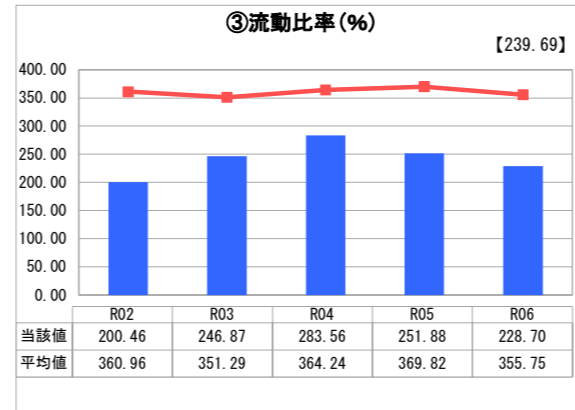
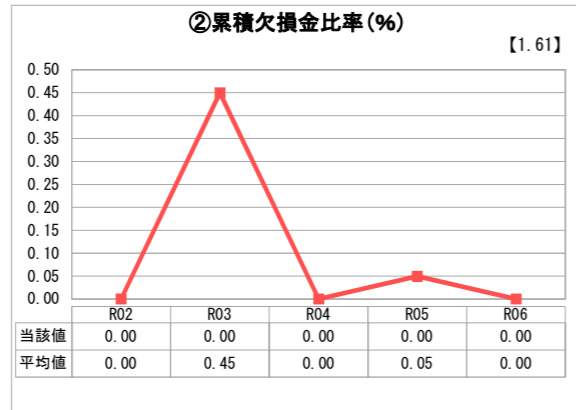
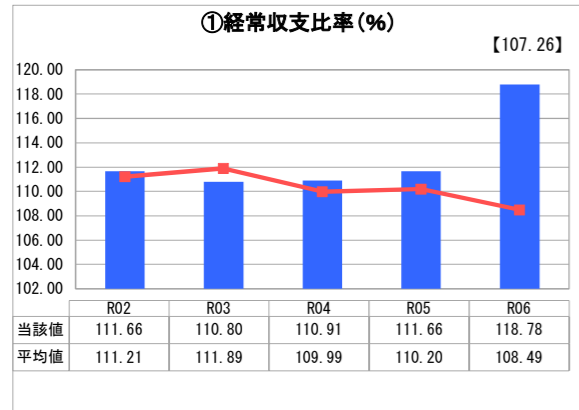
埼玉県 ふじみ野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	84.72	100.00	2,362	

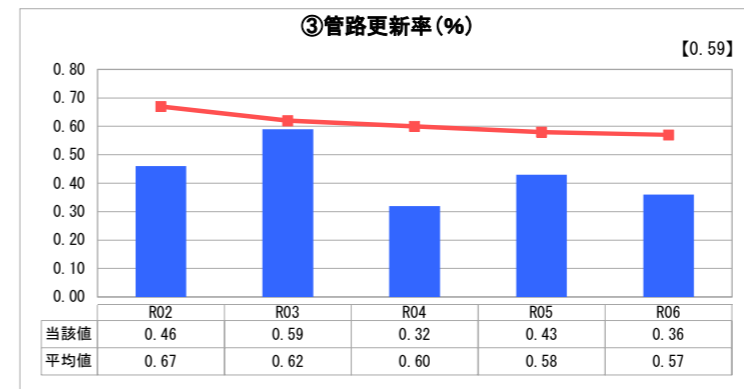
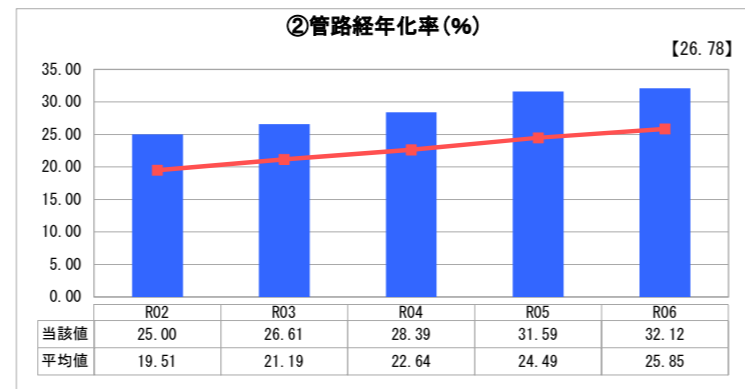
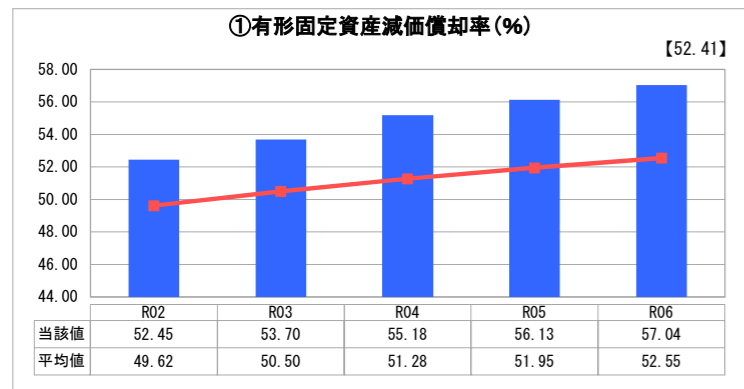
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
114,559	14.64	7,825.07
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
114,862	14.64	7,845.77

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①「経常収支比率」  
経常収益において、令和6年10月に水道料金を改定したことで給水収益が増加し、経常収支比率が100%を上回ったことで類似団体平均よりも高い数値となりました。しかし、今後については水道施設老朽化及び耐震化の更新に備えた財源確保が必要になることから、経費削減等の経営改善を続けていきます。

②「累積欠損金」  
累積欠損金について、現状発生していません。今後も欠損金が発生しないように経営改善を続けていきます。

③「流動比率」  
100%を超えており、短期的な債務に対する支払能力については今のところ問題ありません。修繕に関する未払金が増加したことにより令和5年度から23.18ポイント減少しました。

④「企業債残高対給水収益比率」  
類似団体平均値を大きく下回っており、債務残高が低く抑えられています。今後、水道施設の更新が計画されていることから、適切な企業債の借入を行っていきます。

⑤「料金回収率」  
料金改定を行ったことにより100%を上回り、かつ、類似団体平均を上回ることができました。しかし、物価高騰による各種業務費の増加に加えて、令和8年度から県受水費単価の値上がりが見込まれており、今後は事業費の増額が見込まれます。料金回収率を維持していくため、経費削減を継続して努めていくとともに、水道ビジョン・水道事業経営戦略を定期的に見直し、適切な料金水準を検討していきます。

⑥「給水原価」  
類似団体平均値を下回り、他団体と比べ低く抑えることができているものの、より低い値を目指し経費削減に努めていきます。

⑦「施設利用率」  
施設の整備時点と比べて人口減少に加えて節水機器の普及等により将来的にはさらに使用水量の減少が見込まれるため、施設のダウンサイジングに着手し、改善を図っていきます。

⑧「有収率」  
昨年度よりも1.38%上昇し、類似団体平均値より高い水準で推移しています。

### 2. 老朽化の状況について

①「有形固定資産減価償却率」  
増加傾向で推移しているため、水道事業基本計画で定めた耐震化、更新事業計画及び投資財政計画に基づいて適切に施設の更新を行いながら水道事業を運営していきます。

②「管路経年化率」③「管路更新率」  
管路の老朽化が進む一方で管路更新が追いついていない状況にあり、今後は費用と収益等のバランスを考慮しながら計画的な施設の更新と財源の確保に努めます。

## 全体総括

料金改定を行ったことで料金回収率が100%を上回り、逆ざや状態を解消しました。しかし、管路経年化率が上がっており、今後は施設の老朽化及び耐震化への対策に多額の資金確保が必要となることから、持続的な経営改善の必要があります。

このような状況を踏まえ、経費削減に努め、水道ビジョン・水道事業経営戦略に基づき、計画的な投資更新計画を進めるとともに、安定的な事業運営を目指します。